PICKIN' SINGIN' GINZA
Rocky Top かわら版 第36号
'98, 11, 23 発刊

Yeah! マスター No.33 ～マスターはA型の巻～
作 ターフ井上

拝啓 November

一年のラス前11月です。
急に寒くなってきましたね。
そろそろこたつを出して、猫のように
丸くなる日々が始まるのです。こた
つさん、また春までよろしくお願いします。

お酒のお話

☆ロッキーにある透明なスピリット4種の違いについて

・ジン…原料は大麦、ライ麦だが、ウィスキーと違うのは蒸留後、樽熟成をしないところ。1660年オランダの医者によって医薬品として誕生したが、やがて飲用としても人気が高まっていった。ジュニパーベリー(ねず松の実)をアルコールにひたすので「ジュニエーブル」と名付けられたのが、イギリスに渡って「ジン」と縮めて呼ばれるようになった。

(ロッキーにあるメニュー)・ジントニック・ジンライム・オレンジブロッサム・ジンフィズ・トムコリンズ

・ウオッカ…原料は大麦、小麦、とうもろこしなど。製造の特長として、アルコール分95%以上の中性スピリッツを蒸留し、これを蒸留水で薄め、白樺活性炭の濾過装置を通してウィスキーやブランデーが最も大切にする香りや風味をいっさい取り去るところにある。ロシアを代表する酒でありながら、今日アメリカが生産量世界一だ。

(ロッキーにあるメニュー)モスコミュール、スクリュードライバー、ソルティードッグ

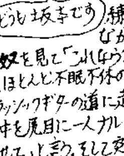
・ラム…原料はさとうきび。1651年西インド諸島の東端バルバドス島で誕生。のちにイギリスに渡り「興奮」を意味する「ラムバリオン」という言葉から「ラム」と呼ばれた。かつてはアフリカの黒人を奴隷に使い、カリブ海の西インド諸島とアメリカのニューイングランドを結ぶ三角貿易に一役買った。西インド諸島のはちみつをアメリカに送り、ラムにかえ、アフリカに送って黒人の身代金にあてた。悲しい歴史で

(ロッキーにあるメニュー)キューバ・リバー

・テキーラ…原料は竜舌蘭。そのでんぷん質を発酵、蒸留させて作る。1800年～1900年にできた洋酒の世界では新参者だ。テキーラが世界的に有名になったのは1968年のメキシコオリンピック。そしてローリング・ストーンズのメキシコ公演でメンバーがテキーラサンライズを愛飲したことによる。テキーラはメキシコにある町の名だ。よく一気飲みにも使われる。

(ロッキーにあるメニュー)テキーラサンライズ

ブルーグラスな人達 ～ Meet the Bluegrass ～



ブルーグラスとの出会いを通してブルーグラスを考察するこのコーナー。今回は数少ないプロのバンジョー弾き、元ラストショーの**坂本健**さん(44)です。かつては「万里」というグループを率いて、アジアの感覚を取り入れたり、オリジナリティあふれる坂本さんの活動の根っこにせまってみた。

石川鷹彦が決め手だった

→高知県出身。ピアノの練習に行く姉についていってじーっと練習を見ていたのが幼少の頃の音楽体験。自分では弾かなかった。楽器を始めたのは中3の頃。当時クラスに必ず一人はいる「**禁じられた遊び**」を**弾いてスターになる奴**を見て「これなら僕もできそうだ!」と思いガットギターを買ってもらった。「**一カ月でギターがうまくなる本**」という嘘くさい本を見ながら、ほとんど不眠不休の一カ月。するとなんと一カ月にして**Fがおさえられる**ようになり「禁じられた遊び」もマスターした。すごい! その後クラシックギターの道に走り、高校では**フラメンコギター**にまで手を伸ばした。**岡林や吉田拓郎**を下手くそなコード弾きでちゃらちゃらやってる連中を尻目に一人ナルシストに指でつま弾く坂本さんだったが、ある日教室で弾いていると**陸上部の男**が寄ってきて「ちょっと弾かせて」と言う。そして突然**スリーフィンガー**でカントリーソングを弾いたのだ。今まで走る事しか能のない奴としか思ってなかっただけに、大ショックだった。「その弾き方何?」そして彼の家に行き初めてブルーグラスのレコードを聴きバンジョーの音を耳にする。そんな頃親が「健! そろそろいいギターを買えば? 5万ぐらい出してやるよ。」(何ていい親だ!)と言われる。陸上部の彼とカントリージェントルメンをやったりしてたが(2人で!)クラシックの道も捨てたわけじゃない。ガットギターか、ストリングスギターか… そんな時高知に**本田るつ子**のバックで**石川鷹彦**がやって来た。石川さんは**マーチンD45**を持ってるし、ブルーグラッサーでもある。「よし、見に行こう」と**ドック・ワトソンのLPを小脇にかかえ**、感動して楽屋にまで押しかけてしまった。**学生服を着て**緊張しながら「僕、ドックワトソンとか好きで…」と言うと、石川さんは「おお、そうか」とマーチンD45を取り**ブラックマウンテンラグ**etc.弾きまくってくれた。楽屋はいつのまに人だかりだ。そして「**カワセのマスターを買いなよ**」と勧められる。もう、クラシックギターなんて遠くに消えてしまった。坂本さんは東京、お茶の水に飛びカワセ楽器でそのマスターを注文する。**半年後**に出来上がった。大学に入ると(京都の立命館)ちょうど京都で**ナターシャセブン**が爆発していた。そして**城田じゅんじ**さんに憧れ、せっかく手に入れたギターだったがバンジョーを始めてしまう。そしてバンジョー弾きとしてスタートするのだが、ブルーグラスにこだわらず、フュージョン、ブルースと色々なバンドをわたり歩いた。プロとして活動するようになるのは東京に出てきて**ラストショー**からだが、その後も、グラスα、万里と、アジア、アイリッシュのトラッドを追求したり色々と試行錯誤しつつ、また来年あたりから歌を含めてオリジナルをやりたいと思ってるそうです。♪少年は夜明けと共に起きるー♪(ヒマラヤ少年)は個人的に聴きたいですねー。それにしても石川鷹彦さんとの出会いがなかったら今頃クラシックギターをかかえ、3チャンネルにでも出ていたのでしょうか? それも案外似合ってるかもしれませんね!

よしえの沖縄旅行記!

最近、髪を短くして大人っぽくなりました。突然思い立っての沖縄旅行、色々あったらしく、しかも全て良い思い出だそうです。さて、どんな旅だった?

バスの中での会話 by よしえ

那覇空港へ帰るバスの中、乗客は私一人。運転手さんにでも話しかけようかなーと思ってやめた。沖縄の人は「気さく」という感じではなく、とにかく自然体に観光客を受け入れる。民宿でも全然客扱いされず、でも家にいるみたいにみんなでゴロゴロテレビなど見てた。そんな事を考えていたら、むこうの方から声をかけてきた。「どこから来たの?」「東京から」「どこ見てきたの?」「石垣島、竹富島に一人で」「へー、一人で!あきさみよー(びっくり)」「沖縄はどうだった?」「おばさんやおじさんが多いです」(笑)「沖縄はよー長寿、失業、離婚と3拍子そろってNo.1やっさー」「食べ物はおいしかったかい?」「うん、おいしかった」「ヤギは食べた?」(そういえばヤギ汁というのがあって臭いのでヨモギを入れて食べるとか言ってたなー…)「運転手さんは?」「僕は嫌いよ。あんなまずいもん…」「また来たいか?」「うん」「今度は新婚旅行でいらっしゃいよ」「当分先になります…」と言いつつ、西表島とかに行きたいなーと思う私だった

<気に入ったもの>
① チャンプル(炒めもの)…何でもおいしかった
② ラベアイスクリーム…沖縄の[illegible]アイス。1日2コは食べた
③ とにかく海!…離島は特に最高。

また行きます!!

フックさんアメリカに帰る…

去る10/25ロッキーなじみのお客さん**レスターフック**さん(70)がアメリカのシカゴに帰ってしまった。日本に来るとその2、3週間毎日!本当に毎日!ロッキートップに来てくれます。ハーバー大学の教授だった人で、とても人なつっこい暖かい人柄です。毎日来てた人が急に来なくなると何だかさみしいですね。次に来るのは4月頃。またみんなで会いましょう。ちなみにターフ井上はフックさんに「マンガマン」と呼ばれています。

アメリカ南部物語
～カントリーミュージックとカーターファミリー～

ジャズ、ブルースなどがアフリカにルーツをもつのと同じように、今のカントリー、ブルーグラスのルーツはスコットランド、イギリス、アイルランド出身の人々が祖国から移入してきたものである。さてそこで重要な役割を果たすのがカーターファミリーである。バージニア州、アパラチア出身の3人組で、バージニア、テネシー、ノースキャロライナなどの学校や教会、集会場で精力的に演奏活動をした。(結成は1926年)そして訪問した先々で老人を訪ねて、彼らの口ずさむ祖国のメロディーを発掘していった。1927年にレコードが出て、名が知れ渡ると、ファンの方から曲を持ってくるようになった。それらルーツの曲を中心に実に幅広いレパートリーで多くのファンを魅きつけた。トリオは1942年まで活動を続け、彼らが解散する頃には300曲以上の録音が残った。その中には「Amazing Grace」「This Land Is Your Land」「Will The Circle Be Unbroken」「Wabash Cannonball」などがある。今でも完璧なまでにスタンダードソングだ。内容は家族や母の愛、信仰の尊さなど保守的なものばかりだ。解散後はカーターの子供達が演奏を受けついだ。メイベルの娘ジューンはカントリーシンガーとして名を成し1968年にジョニーキャッシュと結婚した。